



Planet

プラネット

バリューチェーンを通じて環境負荷を半減します。

	環境基本方針	49
Materiality	 気候変動への対応	
Initiative	温室効果ガス排出の削減	51
Materiality	 自然・生物多様性保全と循環型社会の実現	
Initiative	自然・生物多様性保全への対応	53
	持続可能な原材料の調達	55
	サステナブルな容器包装	56
	生産活動における水資源の保全	57

環境基本方針

環境基本方針の制定

ファイントゥデイグループは2023年に環境基本方針を制定しました。同基本方針は、当社グループが実施すべき環境保全に関する基本理念と、行動指針を明示したものです。取り組みの重点分野として、気候変動、生物多様性、水、循環型社会、大気・化学物質管理を掲げています。

ファイントゥデイグループ 環境基本方針

基本理念

●持続可能な社会の実現

ファイントゥデイグループは、美しい地球環境を将来世代へ引き継ぐために、事業活動と地球環境保全の両立が、大切だと考えています。パーソナルケア商品を通じて、世界中の人々に「素晴らしい今日」をお届けすると共に、将来世代の人々の生活を美しく豊かにするために、事業活動を通じた地球環境保全に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

●企業の社会的責任

ファイントゥデイグループは、企業の担うべき社会的責任を認識し、地球環境の保全のための法令や国際ルールへの遵守、社員への環境教育、地域社会との協働の他、積極的な情報開示などの環境コミュニケーションに取り組んでいきます。

行動指針

●重点分野と基本姿勢

- (1)気候変動への取り組み
事業活動とバリューチェーンを通じて、省エネルギー活動の推進と気候変動の原因となるGHG(温室効果ガス)排出量削減に取り組みます
- (2)生物多様性保全への取り組み
自然資本の調和的かつ持続可能な利用を促進するため、事業活動とバリューチェーンを通じた生物多様性影響の評価に努め、そのマイナス影響の低減に取り組みます
- (3)水の持続可能な管理
事業活動とバリューチェーンを通じて、取水、排水の両面から、水資源の持続可能な利用と管理を行います
- (4)循環型社会構築への取り組み
持続可能な消費を推進するため、事業操業、製品使用、使用済み製品を含む製品ライフサイクルにおいて、資源の適正な管理・効率的な利用、廃棄物の削減に取り組み、サーキュラーエコノミーの実現に貢献します
- (5)大気の保全ならびに化学物質管理
事業活動とバリューチェーンで使用する化学物質等の確実な管理を通じて、環境負荷の低減と汚染の防止に努めます

●環境管理体制

ファイントゥデイグループは環境管理体制を構築し、PDCAサイクルを通じた、その維持と向上に継続的に取り組んでいきます

生産拠点における環境側面の取り組み

ISO 14001に基づく環境活動の継続的な改善

ファイントウデイグループは、生産拠点においてISO 14001を取得し、これを基盤として環境活動の継続的な改善を推進しています。現場で働く従業員一人ひとりの行動を起点に、環境配慮を組織運営のプロセスに組み込むことで、環境負荷や環境リスクの低減、ならびに事業の持続性向上を図っています。

ファイントウデイインダストリーズでは、株式会社資生堂の久喜工場として運営されていた1997年に、国内化粧品業界で初めてISO 14001の認証を取得しました。以来、現在に至るまで環境マネジメントシステムの継続的な高度化に取り組んでおり、2027年には認証取得から30年の節目を迎えます。

また、海外生産拠点であるFT Industries Vietnam Co., Ltd.においてもISO 14001を取得し、グローバルに環境負荷低減を進めています。

生産拠点では、環境負荷の大きい生産部門が主体となり、ISO 14001に基づき、内部監査や外部審査を定期的に実施し、環境法令の遵守状況を確認しています。これらの取り組みを日常業務に組み込むことで、環境リスクの未然防止と安定的な生産活動の維持につなげています。

従業員の環境意識の向上を図る教育・研修

ファイントウデイグループでは、国内外の生産拠点において、環境基本方針の理解と実践を目的とした教育・研修を継続的に実施しています。従業員一人ひとりの環境意識と行動の向上を通じて、持続可能な事業活動を推進しています。

ファイントウデイインダストリーズでは、現場で環境管理を確実に実践するべく、新入社員を含む全従業員を対象に体系的な教育・研修を行っています。具体的には、企業理念と環境基本方針の理解・浸透を図るとともに、環境管理・気候変動対策に関する取り組み実績と計画の共有、廃棄物の分別、省エネルギー、ペーパーレス化、原料・薬剤の流出防止、アイドリングストップなど、日常業務に直結するテーマを幅広くカバーしています。

また、FT Industries Vietnam Co., Ltd.においても、全従業員を対象にSDGsやESGの考え方に関する教育を実施し、グループ全体で環境意識の浸透を図っています。

PICK UP

環境にやさしい選択を広げ、美しく豊かな毎日を目指します

ファイントウデイグループは、心にも身体にも、そして環境にも健全な豊かさをもたらすことを目指しています。

一方で、シャンプーや洗顔料など日用品の容器の多くはプラスチックを使っており、海洋ゴミやCO₂排出など、地球規模の環境問題の一因にもなっています。

日用品メーカーである私たちは、この現実に対して事業活動を通じて真摯に向き合い、「全ての容器包装をサステナブル仕様に」「主容器での石油由来バージンプラスチックの使用量削減」を中長期目標に掲げています。その実現に向けて、複数部門と連携しながらさまざまな施策に取り組んでいます。

私たち企業が、こういった課題に真剣に取り組むことで、生活者が買い物の際に、環境にやさしいものを手に取るサステナブルな選択が「特別なこと」ではなく、「日常の当たり前」になる毎日につながると信じ、日々活動しています。私たちはステークホルダーの皆さまと共に、プラスチックがゴミではなく資源として回収され循環する社会の構築を通して、100年先も美しく豊かな毎日を過ごせるようにしていきたいと考えています。



株式会社ファイントウデイ
ステークホルダー・リレーションズ本部
環境G
グループマネージャー
長尾 陽子



温室効果ガス排出の削減

基本方針

ファイントゥデイグループは、「ファイントゥデイグループ 環境基本方針」に基づき、社会的責任として環境保全に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献することを目指しています。

マテリアリティ「Fine Today & Tomorrow」の中で、気候変動問題への対応を重点分野として定め、重要な経営課題の一つとして取り組みを実施しています。

TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）への対応

ファイントゥデイは、2022年6月にTCFD提言への賛同を表明し、気候変動関連リスク・機会の両面から会社経営への影響を評価するシナリオ分析を実施しました。その結果を含め、2023年3月に「TCFDレポート」を発行し、情報開示を行っています。

また、2023年12月にはTCFDコンソーシアム（2026年4月よりGXフューチャー・コンソーシアムへ移行）（→P20）へも加盟し、気候変動対策を継続的に推進しています。



Web サイト **TCFD レポート**
https://www.finetoday.com/jp/uploadimages/FineToday_TCFDreport2023.pdf

SBT（Science Based Targets）への対応

ファイントゥデイは、バリューチェーン全体で温室効果ガス排出量の削減を進めています。2030年度までに2021年比で自社の温室効果ガスの排出量※1を42%、バリューチェーンを含む間接排出量※2を25%削減する目標を設定し、SBTイニシアチブによる「1.5℃目標」の認定を取得しています。

「Fine Today & Tomorrow」の達成に向け、Scope 1、2、3に関わる温室効果ガス排出量を継続的にモニタリング（→P72）するとともに、中長

期を含む具体的な削減計画の取り組みを推進しています。

※1 自社での燃料の使用や工業プロセスによる直接排出量（Scope 1）および自社が購入した電気・熱の使用に伴う間接排出量（Scope 2）。

※2 バリューチェーンを含む、事業活動におけるその他の間接排出量（Scope 3）。

温室効果ガス排出削減に向けたロードマップ

Scope 1、2では、工場・オフィスにおいて省エネルギー施策や再生可能エネルギーの導入・調達を段階的に推進し、2030年度までに排出量42%削減を目指します。また、Scope 3では、サプライヤーとの協働や製品・物流における削減活動を通じ、排出量25%削減を図ります。

温室効果ガス排出削減ロードマップ

対象	拠点	2021年度～ 2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2030年度目標	
Scope 1、2 自社拠点における 燃料の燃焼／ 電気の使用	工場	省エネ 設備更新／EMS／運用改善							SBT 目標達成 Scope 1、2 排出量 42%削減 (2021年比) 外部購入電力の 100%再エネ化を含む	
		再エネ 再エネメニュー／証書購入								
		創エネ 太陽光導入								
	オフィス	国内拠点 再エネ購入								
海外拠点 再エネ購入										
Scope 3 製品容器の廃棄 購入製品とサービス 輸送／配送			サプライヤーエンゲージメントによる削減活動の推進							SBT 目標達成 Scope 3 排出量 25%削減 (2021年比)
			材料・物流・包装材における削減活動の推進							
			主要製品のカーボンフットプリント算定							

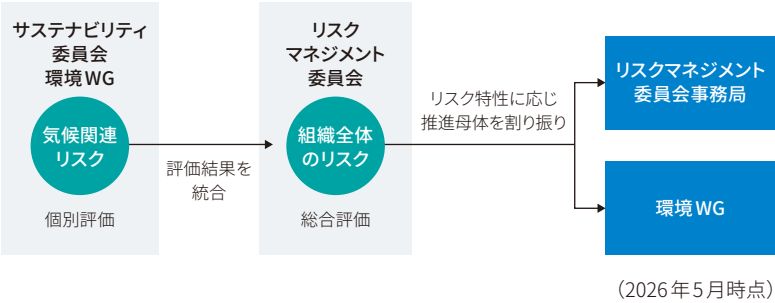
気候関連リスクのマネジメント

特定した気候関連リスク5項目は、特性に応じてリスクマネジメント委員会と、サステナビリティ委員会の傘下に設置している「環境WG」が中心となり対応しています。

リスクのうち、唯一「財務影響：大」かつ「時間軸：短期」と評価した物理的急性リスク「巨大台風・豪雨・洪水」については、現状、物流倉庫の分散（東日本エリア／西日本エリア）や在庫の積み増しなどの対策を実施していますが、今後は自然災害リスクを管轄するリスクマネジメント委員会が主体となって、対応を進めていきます。このほか、「平均気温の上昇」や「低炭素製品への購買変化」のリスクや、「炭素税」や「国の気候変動政策」へのリスクについても引き続き、対応を推進していきます。

これからも、気候関連リスクに対するレジリエンスを高める活動を推進するとともに、TCFD提言に沿った情報開示を継続していきます。

－リスクマネジメント委員会を主体とした気候関連リスクへの対応



生産拠点における温室効果ガス排出削減の取り組み

ファイントゥデイインダストリーズ

ファイントゥデイインダストリーズ(FTI)では、2012年にコージェネレーションシステムをガスタービン式からガスエンジン式(2基)に更新しました。このシステムの通常時における発電量は1,700kWhで、工場の総使用電力4,100kWhの41%に当たります。発電に伴う廃熱は、生産エリアで使用する温水や蒸気を生成するための熱源として再利用しており、電力と熱を個別に供給する場合と比べてエネルギー利用効率が高く、温室効果ガスの削減に貢献しています。また、自然災害などによる長時間の停電や計画停電の際にも電源を確保することができ、事業継続の面でも重要な役割を果たしています。

加えて、FTIでは2022年より電力を対象としたエネルギーマネジメントシステムを導入し、主要な電力使用箇所での計測ポイントを大幅に増設しました。電力使用量をリアルタイムで可視化することで、工場全体のエネルギー消費を適切に把握・管理し、温室効果ガス排出削減に取り組んでいます。

－CO₂削減に向けた主な設備投資・取り組み

2022年	- 全ての使用電力を水力発電由来電力へ切り替え(目安電力：9,799千kW) - オフセットクレジット(Jクレジット)を適用(CO₂排出権を購入) - 第5工場棟変電所の変圧器を超高効率変圧器へ更新 - エネルギー棟のコンプレッサーをインバーター制御式に更新(1台)
2023年	第3工場棟1階充填仕上室の空調機を更新
2024年	- 排水処理棟生物処理水槽への空気供給機をルーツフロアからターボフロアへ更新 - 照明をLED化(エネルギー棟、ポンプ棟、外灯、第5工場棟の一部)
2025年	倉庫棟変電所の変圧器を超高効率変圧器へ更新

※ 2021年7月以前の取り組みについては、(株)資生堂のパーソナルケア事業におけるものを記載。

FT Industries Vietnam Co., Ltd.

FT Industries Vietnam Co., Ltd.(FTIV)では、温室効果ガス排出量の削減を通じて、カーボンニュートラル社会の実現への貢献を目指しています。その一環として、2024年にグループ初となる太陽光発電システムを導入し、同年8月より稼働を開始しました。工場屋根に設置した設備は最大2,744kWpの発電能力を有し、2025年度は工場の消費電力の約40%(実績39.6%)を再生可能エネルギーで賄っています。これにより、外部電力への依存を低減し、電力コスト上昇のリスクを軽減するとともに、CO₂(電力由来)を約40%削減しています。

また、ボイラー室の送風ファンやプロセスチラーのポンプには、インバーター制御式の機器を導入しています。あわせて、ボイラー煙道に熱交換器を設置し、排熱を回収してボイラーへの供給水の予熱に利用するなど、エネルギー使用効率の向上を図っています。

FTIVでは、持続可能な生産体制の構築に向けて、今後も現地政府のエネルギー政策と連携し、再生可能エネルギーの活用や生産工程の省エネルギー化を進めていきます。





自然・生物多様性保全への対応

基本方針

ファイントウデイグループは、「世界中の誰もが、素晴らしい一日を紡ぎ、いつまでも美しく、豊かな人生を送れるようにする」というパーパスの実現に向けて、「ガバナンスの原則」「ピープル」「プラネット」「共栄」の4領域において2030年度までに取り組むマテリアリティ「Fine Today & Tomorrow」を掲げています。その中で「プラネット」に関する項目として「自然・生物多様性の保全」を掲げており、自然資本の保全を経営の重要課題と認識して取り組んでいます。

TNFD(自然関連財務情報開示タスクフォース)への対応

ファイントウデイは、TNFD*の理念に賛同し、2025年7月にTNFD Adopterとして登録しました。

※ 民間企業や金融機関が、自然資本および生物多様性に関するリスクや機会を適切に評価し、開示するための枠組み構築を目指す国際的な組織。国連環境計画・金融イニシアティブ、国連開発計画、世界自然保護基金、グローバル・キャノピー(英国のNGO)により、2021年6月に正式発足。



Web サイト

TNFDレポート

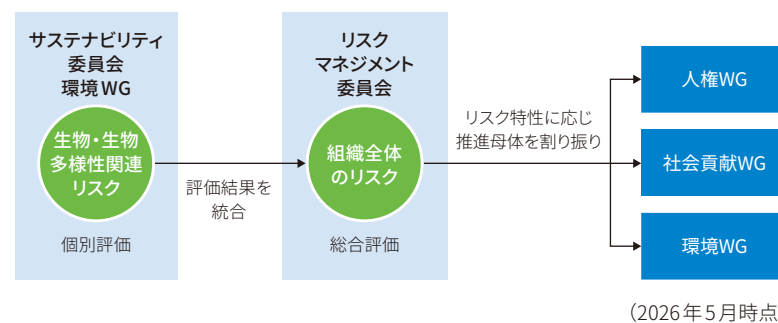
https://www.finetoday.com/jp/uploadimages/FineToday_TNFD-Report_2025_JP.pdf

リスクと機会の管理

企業を取り巻くビジネス環境が複雑化・多様化する中、ファイントウデイは、「リスク・機会の統合」を重要課題として認識しています。そして、自然資本関連を含む、企業価値向上を阻害するさまざまな不確定要素を、年4回開催するリスクマネジメント委員会のもとグループ一体となって適切に管理しています。

自然資本に関連するリスクと影響については、サステナビリティ委員会が中心となって評価し特定した上で必要な管理を行います。この自然資本関連リスクの評価・管理プロセスは、リスクマネジメント委員会による組織全体のリスクマネジメントプロセスに統合しています。サステナビリティ委員会は特定した当社の自然資本関連リスクをリスクマネジメント委員会事務局に報告し、組織全体のリスクとして管理しています。

リスクマネジメント委員会を主体とした自然資本関連リスクへの対応



廃棄物の削減、化学物質の適正管理、環境汚染の防止

ファイントウデイグループは、製品の生産工程や社員食堂で発生する廃棄物の削減を進めるとともに、化学物質を取り扱う企業として、有害化学物質の適正管理に努めています。また、土壌汚染や大気・水質汚染を防止するため、法令などに沿って定期的な環境調査を実施しています。更に、工場周辺の自然環境保全の観点から、騒音の防止にも取り組んでいます。

廃棄物の削減

ファイントウデイグループは、関連する環境作業手順書に則して、廃棄物をそれぞれ適切に処理しています。事業所内のリサイクルセンターに各種破砕機や圧縮機を導入し、廃棄物の一部を圧縮・減容処理し有価化しています。

ファイントウデイインダストリーズ(FTI)では、ドラム用洗浄機を導入。従来、廃棄していたポリマードラム・金属ケミドラムは、内部を洗浄して有価化しています。また、社員食堂で発生する生ゴミは、生ゴミ処理機で微生物処理し減容しています。



FTIでの減容処理



FTIのリサイクルセンター



FTIVのリサイクルセンター



FTIの生ゴミ処理機

有害廃棄物の管理

ファイントゥデイグループでは、使用済み電池などの有害廃棄物については、産業廃棄物業者へ委託し、適切に処分しています。

化学物質の管理

ファイントゥデイグループは、各国・地域の法令を遵守し、環境に関する情報を行政当局へ定期的に報告しています。FTIでは、PRTR法(特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律)に基づき、製造あるいは使用した特定化学物質の名称および取扱量を、埼玉県環境部大気環境課へ毎年6月中に報告。FT Industries Vietnam Co., Ltd.(FTIV)では、ベトナムの環境保護関連法令に基づき、事業活動に関する環境保護の状況について、毎年Dong Nai Agriculture and Environment Departmentへ報告しています。

土壌汚染の防止

ファイントゥデイグループでは、事業活動により発生する廃棄物について、リサイクルまたは認可業者による処理を行っています。全ての廃棄物はこれらの方法で処理されており、埋立処分は行っていないため、土壌汚染の防止に寄与しています。

また、FTIでは、必要に応じて土壌調査を実施し、基準値内であることを確認しています。あわせて、土壌汚染を防止するため、各建屋内外排水配管、工場敷地内(構内)の埋設配管などは適時更新工事を実施しており、直近5年以内に複数の建屋において生産排水系配管や污水配管を更新しました。

騒音の防止

ファイントゥデイグループは、事業活動に伴う騒音の状況を把握するため、騒音レベルの計測を年1回実施しています。FTIではこれに加え、配送車両や従業員車両の事業所内でのアイドリングストップを徹底しています。

PICK UP

使用済み剥離紙の水平リサイクルを推進

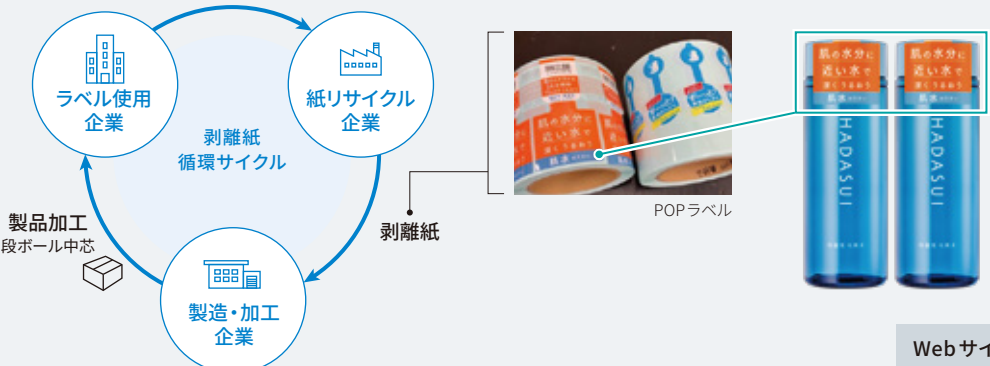
FTIでは、廃棄物の削減や資源の有効活用に取り組んでいます。その一環として、他の企業などと連携し、販売促進用POPラベル(シール)の貼付工程で発生する使用済み剥離紙を循環資源として活用する取り組みを進めています。

これまでも、同社は製造工程で製品にPOPラベルを貼付する際に発生する剥離紙については処理費用を支払い、産業廃棄物(廃プラスチック)として回収を委託していました。回収された剥離紙からは、RPF(Refuse derived Paper & Plastic densified Fuel)がつくられます。RPFとは、古紙や廃プラスチックを小さく固めた固形燃料で、石炭と比べて燃焼時のCO₂排出量を33%低減できることなどから、さまざまな産業で利用されています。

2024年6月からは、一般社団法人ラベル循環協会の循環サイクルモデルを活用することで、RPFへのリサイクルから、水平リサイクルである剥離紙の再生紙化に移行し、資源循環の取り組みを強化しています。剥離紙は、良質なパルプでできており、製紙原料として再利用が可能ですが、回収ルートが確立されておらず有効活用が進んでいませんでした。同協会の参画・賛同パートナーと構築した循環サイクルは、剥離紙を紙リサイクル企業が回収・再生し、紙製品の製造・加工企業が段ボール中芯に再生紙化するものです。

この取り組みによって、2024年度は8tの削減、2025年度は見込み通り20tの削減を達成しました。なお、ファイントゥデイグループでは、製品におけるPOPラベル自体の使用の削減・縮小にも取り組んでおり、更なる環境負荷の低減を図っています。

剥離紙の循環サイクルモデル



ラベル使用企業

紙リサイクル企業

剥離紙

剥離紙 循環サイクル

製品加工 段ボール中芯

製造・加工 企業

POPラベル

Webサイト <https://www.j-ecol.or.jp/blog>

一般社団法人ラベル循環協会 事例



Initiative

持続可能な原材料の調達

基本方針

ファイントウデイグループでは、製品の主要原材料の一つとしてパーム油を使用しています。パーム油の搾油や、その供給源であるアブラヤシの栽培には、環境保全や人権尊重の観点からさまざまな課題が指摘されています。

こうした課題に対応するため、ファイントウデイは、2022年4月に持続可能なパーム油の生産と利用を推進する国際的な認証制度であるRSPO（持続可能なパーム油のための円卓会議）に加盟しました。更に2025年には、RSPO サプライチェーン認証の取得を通じて、認証パーム油の調達体制を構築し、2030年度までにRSPO 認証パーム油の使用率を100%とすることを目指しています。

RSPO サプライチェーン認証書

CERTIFICATE
CU-RSPO SCC-907635

Based on an audit according to the requirements stated in the RSPO Supply Chain Certification System, version February 2020 and a signed contract, Control Union (Malaysia) Sdn Bhd herewith certifies that the facility(s) listed below are found to be in compliance with the RSPO Supply Chain Certification Standard, version February 2020 this guarantees that the criteria for processing RSPO certified palm oil products through one or more of the supply chain models as stated in the RSPO Supply Chain Certification Systems have been met.

Name certified company	FineToday Co., Ltd.
Full address certified company	18F, Shinagawa Grand Central Tower, 2-16-3 Konan, Minato-ku, Tokyo, Japan + 8424-22-000-00
RSPO number (if applicable)	☒ yes ☐ no
Other sites certified	
RSPO registered parent company (if applicable)	
RSPO member number parent company	

Certificate Start Date	17-07-2025
Certificate Expiration Date	16-07-2030
Date of first RSPO certification	17-07-2025
Certificate number	CU-RSPO SCC-907635
Supply chain model	☐ Identity Preserved (IP) ☐ Segregated (SG) ☒ Mass Balance (MB)

Authorized signatory name
Ms. N.A. Shafinaz Binti Whayyah

Certifier
Date of issue: 17-07-2025
On behalf of the Managing Director

Authorized signature

Issued by
Control Union (Malaysia) Sdn Bhd
Port Tech Tower Level 17, Unit No: 17-7,
Jalan Tiana 3, Kluang Bandar Baru Kluang,
41150 Kluang
Selangor Darul Ehsan
Malaysia
00000-0-30004132
certifications@controlunion.com

Control Union (Malaysia) Sdn Bhd is accredited by Assurance Services International for certification against voluntary sustainability standards for scope of RSPO Supply Chain Certification on 15-11-2024 (2024-07-08). This certificate including the annex remains the property of Control Union (Malaysia) Sdn Bhd and can be withdrawn in case of termination as mentioned in the license contract, or in case changes or violations of the above mentioned data occur. The licensee is obliged to inform Control Union (Malaysia) Sdn Bhd immediately of any changes in the above mentioned data.
Only an original and signed certificate is valid.

CONTROL UNION
Certificate version: CMT/RSPO SCC-01-01-2025

asi
assurance
services
international

RSPO
R 0020-06-100-00

Annex 1 to Certificate – RSPO SCC
Certificate No.: CU-RSPO SCC-907635

CU Code	Name of facility	Location address	Scope
ICS	FineToday Co., Ltd.	18F, Shinagawa Grand Central Tower, 2-16-3 Konan, Minato-ku, Tokyo, Japan	Overall administration of the RSPO management system, development of common procedures manual, planning and implementing trainings and internal audits, supplier validity checks, RSPO trademark
FFU-01	Fine Today Industries Co., Ltd.	5 Kiyokura-cho, Kuki-shi, Saitama, Japan	Purchasing, receiving, and using certified raw materials
FFU-02	FT Industries Vietnam Co., Ltd.	Lot 213-219-215-217, Amata Road, Amata Industrial Park, Long Binh Ward, Bien Hoa City, Dong Nai Province, Vietnam	Purchasing, receiving, and using certified raw materials

Authorized signatory name
Ms. N.A. Shafinaz Binti Whayyah

Certifier
Date of issue: 17-07-2025
On behalf of the Managing Director

Authorized signature

Issued by
Control Union (Malaysia) Sdn Bhd
Port Tech Tower Level 17, Unit No: 17-7,
Jalan Tiana 3, Kluang Bandar Baru Kluang,
41150 Kluang
Selangor Darul Ehsan
Malaysia
00000-0-30004132
certifications@controlunion.com

Control Union (Malaysia) Sdn Bhd is accredited by Assurance Services International for certification against voluntary sustainability standards for scope of RSPO Supply Chain Certification on 15-11-2024 (2024-07-08). This certificate including the annex remains the property of Control Union (Malaysia) Sdn Bhd and can be withdrawn in case of termination as mentioned in the license contract, or in case changes or violations of the above mentioned data occur. The licensee is obliged to inform Control Union (Malaysia) Sdn Bhd immediately of any changes in the above mentioned data.
Only an original and signed certificate is valid.

CONTROL UNION
Certificate version: CMT/RSPO SCC-01-01-2025

asi
assurance
services
international

RSPO
R 0020-06-100-00



サステナブルな容器包装

基本方針

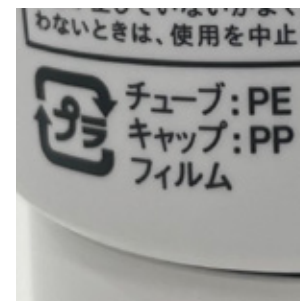
ファイントウデイグループは、「ファイントウデイグループ 環境基本方針」を定め、持続可能な社会の実現に貢献することを目指しています。

その中でも、循環型社会の実現は気候変動への対応と並ぶ重要なマテリアリティの一つとして位置付けており、資源の効率的な利用やリサイクルの推進に積極的に取り組んでいます。

また、2025年3月に当社グループは2030年度までに容器に使用する石油由来バージンプラスチックを2022年に比べ原単位で25%以上削減する目標を掲げました。環境負荷の低い詰め替え製品の更なる拡大、製品の大容量化やサステナブル素材の採用を促進し、持続可能な社会の実現と事業の成長に取り組んでいます。

容器包装における取り組み

ファイントウデイは、容器包装リサイクル法に基づき、製品容器に使用した資材の量を毎年算定し、同法で定められた指定法人へリサイクルを委託しています。また、容器包装のリサイクルを促進するため、製品にはパッケージに使用した資源の種類に関する情報を記載しています。



物流における資源循環の推進

ファイントウデイは、国内用レンタルパレットを日本と中国間の輸出入にも活用する「パレットラウンドユース」を、業界を越えた4社による連携のもと推進しています。この取り組みにより、使い捨てパレットの削減と、繰り返し利用による物流資材の有効利用を実現しています。更に、積み替え作業を省略することで、物流の効率化にもつなげています。

業界を横断して協力体制を構築することで、物流分野における資源循環の高度化と循環型社会の形成に貢献しています。

「使いやすく、選びやすい」詰め替え製品を広げて、持続可能な容器包装を実現していきます

Shanghai FTS Cosmetics Co., Ltd. (FTC) では、プラスチック使用量の削減に向けて、詰め替え製品の普及を中心とした容器包装の見直しに取り組んでいます。2025年度は、詰め替え製品の販売比率が前年度より向上し、全ブランド合計で年間で155tのプラスチック削減につながりました。

こうした成果の背景には、製品開発・販売・コミュニケーションを一体的に推進してきたことがあります。詰め替え製品は、2024年度の12製品から、2025年度は22製品へと倍増し、ラインアップを大きく拡充しました。

また、本体製品の利用が中心となっている中国市場においては、オンラインショップでブランドの既存顧客に向けて詰め替え製品を紹介するとともに、実店舗では本体と詰め替えを組み合わせたセット販売を実施し、詰め替え製品をより手に取りやすくする工夫を進めています。更に、中国市場において詰め替えをより身近に感じてもらえるよう、コミュニケーションにも力を注いでいます。メディアを通じた情報発信や業界セミナーへの参加を通じて、詰め替えの環境価値および利便性の認知向上に取り組んできました。その結果、関連する取り組みが主要メディアのESG賞などを10件受賞し、社外からも高い評価を得ています。

2026年度は、詰め替え製品の販売比率を更に高めるとともに、現地開発による詰め替え新製品(8製品を予定)の拡充を進めていきます。あわせて、大学生を支援するNGO団体などと連携した取り組みを通じてZ世代への認知拡大を図るほか、各ステークホルダーの理解促進や業界との連携も継続していきます。そして、2030年度までに累計2,000tのプラスチック削減を目指します。

FTCは、詰め替えを単なる環境配慮の取り組みとして捉えるのではなく、お客さまにとって使いやすく、選びやすい製品につなげていくことを大切にしながら、持続可能な容器包装の実現に取り組んでいます。



関 浩
Vice President
Sustainability Department
Shanghai FTS Cosmetics
Co., Ltd.



Initiative

生産活動における水資源の保全

基本方針

ファイントウデイグループでは、「自然・生物多様性保全と循環型社会の実現」をマテリアリティとして掲げ、生産活動における水資源の保全と持続可能な水利用の推進に取り組んでいます。

取水から排水に至るまでの水使用状況を把握・管理し、使用量の抑制や効率的な利用を通じて、地域の水環境への負荷低減を図っています。また、生産排水は、排水処理施設で活性汚泥処理を行い、法規制値以下に処理した上で下水道へ放流するなど、水質への影響を抑える管理を徹底しています。

これらの取り組みを通じて、法令遵守を前提に、水資源の保全と事業活動の両立を目指しています。

生産拠点における水資源の保全

ファイントウデイインダストリーズ

ファイントウデイインダストリーズでは、生産工程で発生する排水に含まれる有機物質などは、それぞれに適応した技術の設備を導入し、法令で定められた基準値や各自治体での上乘せ基準値以下まで低減させた上で排出しています。

FT Industries Vietnam Co., Ltd.

FT Industries Vietnam Co., Ltd. では、生産活動における水資源を保全し、水ストレスを緩和するため、システム改善を行いました。その結果、2025年度には、約9,058m³の節水を実現しました。

今後も、生産活動と水資源保全の両立を図りながら、地域の水環境に配慮した取り組みを継続していきます。